

都市再生整備計画 事後評価シート  
中間市東部・北西部地区

平成31年3月

福岡県中間市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	中間市	地区名	中間東部・北西部地区			面積	706ha																		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	124百万円	国費率	0.4																			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業名</th> <th colspan="2">削除/追加の理由</th> <th colspan="2">削除/追加による目標、指標、数値目標への影響</th> </tr> <tr> <td>基幹事業</td> <td>道路(道路サイン)、地域生活基盤施設(案内板)、高質空間形成施設(モニュメント)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>提案事業</td> <td>地域創造支援事業(史跡解説PRパネル製作事業、周遊環境整備事業、周遊方法利用促進事業)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		基幹事業	道路(道路サイン)、地域生活基盤施設(案内板)、高質空間形成施設(モニュメント)					提案事業	地域創造支援事業(史跡解説PRパネル製作事業、周遊環境整備事業、周遊方法利用促進事業)				
	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響																							
	基幹事業	道路(道路サイン)、地域生活基盤施設(案内板)、高質空間形成施設(モニュメント)																										
	提案事業	地域創造支援事業(史跡解説PRパネル製作事業、周遊環境整備事業、周遊方法利用促進事業)																										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	中間隧道整備事業 高質空間形成施設(ベンチ)	中間隧道整備事業:庁内協議により別事業で実施するため、当事業から削除。 高質空間形成施設(ベンチ):協議の結果、指標達成への効果が悪いいため、当事業から削除。		中間隧道整備事業:指標2フットバス利用者にマイナスの影響を与えるが、垣生公園整備事業の追加等によりフットバス利用者の増加が見込まれるため指標2の目標値を上方修正。 高質空間形成施設(ベンチ):指標2フットバス利用者にマイナスの影響を与えるが、垣生公園整備事業の追加等によりフットバス利用者の増加が見込まれるため指標2の目標値を上方修正。																						
		提案事業	中間隧道及び周辺整備事業	基幹事業における隧道整備事業の削除に伴い、当事業から削除。		影響なし																						
新たに追加した事業	基幹事業	垣生公園整備事業、御座ノ瀬山ポケットパーク	垣生公園整備事業:垣生公園を整備することにより、フットバスコースの利用促進イベントを実施する場所として当事業に追加。 御座ノ瀬山ポケットパーク:御座ノ瀬山は歴史遺産として非常に活用できるものであり、当時の歴史をより詳しく周知するため、ポケットパークとして整備し、利用者の増加を図るため、当事業に追加。		垣生公園整備事業:垣生公園はフットバスコースに位置し、当事業によりフットバス利用者の増加が見込まれるため、指標2の目標値を上方修正。 御座ノ瀬山ポケットパーク:指標1の文化財保護に関連するが指標及び数値目標は据え置く。																							
	提案事業	観光環境促進事業	観光環境整備を行い、フットバスの整備を更に広め、観光客の増加を図るため、当事業に追加。		歴史遺産・近代化史跡周辺環境整備による地域交流の促進に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。																							
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響																								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期																	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値																						
	指標1	文化財の保護	%	6.1	H23	20	H30	23.0	○	あり なし	歴史遺産・近代化史跡を訪れる方のために、市内各所に道案内や案内板設置した整備効果により文化財の保護に対する満足度が向上し、魅力あふれる地域づくりに貢献できた。	-																
	指標2	フットバス利用者	人/年	50	H25	750	H30	370	×	あり なし	史跡の周遊方法であるフットバスの利用促進のため、フットバスのコースマップ作成や案内板設置、またフットバス全国大会のイベントを開催する等、各種事業効果によりフットバス利用促進に寄与していると考えられるが、目標値は達成できなかった。	平成31年4月																
	指標3	地域歴史講座	人/年	360	H25	600	H30	616	○	あり なし	「中間市の歴史を学ぶ」地域歴史講座を開講し、受講者を募った結果、受講者数が増加し、人と人との交流を促進する地域づくりに寄与したと考えられ、目標値を達成することができた。	平成31年4月																
指標4	観光ガイド育成講座	人/年	9	H25	30	H30	-	-	あり なし	中間観光ガイド資格者の育成を目的とした観光ガイド講座を開講し、受講者を募集したが、予定よりも多くの参加者があり、平成27年度で講座を修了。よって本指標の評価値は測定不能となった。	-																	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期																	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値																						
	その他の数値指標1	史跡解説案内板等設置に関する満足度	%					50.3			道路サインや史跡解説案内板整備により歴史遺産・近代化史跡を学び易い環境が整い「史跡解説案内板等設置について」の満足度が向上し、魅力あふれる地域づくりに寄与した。	-																
	その他の数値指標2	垣生公園整備に関する満足度	%					60.2			垣生公園内の芝生化整備や排水整備等の整備効果により、垣生公園整備に関する満足度が向上し、魅力あふれる地域づくりに寄与した。	-																
	その他の数値指標3	歴史民俗資料館の年間利用者数	人/年	5,567	H25			17,716			世界遺産登録により、歴史遺産・近代化史跡の周遊環境整備等、事業効果により施設の利用者数が増えた。	-																
その他の数値指標4	中間観光ガイド登録者数	人/年	27	H26			40			観光客への対応に向け中間観光ガイドを育成する観光ガイド育成講座の開催により、中間観光ガイドの登録者数が増え、人と人との交流を行いながら、共に学ぶことのできる地域づくりに寄与した。	-																	
4) 定性的な効果発現状況	<p>当事業にて、フットバス整備事業(パンフレット製作等)を実施したことにより、平成29年度にフットバス全国大会を開催することができ、当時のフットバスの知名度がアップし、市外へアピールすることができた等の意見が聞かれた。</p> <p>高齢者からフットバスコースの整備によって、市内在りやすくなった、健康増進が図られる等の意見が聞かれた。</p> <p>平成30年8月に実施した「中間市まちの魅力向上に関する住民アンケート」において、垣生公園が整備され、公園がきれいになり、休憩所や散歩コースなど使いやすくなったことや、案内板設置によりフットバスやレンタサイクルを活用するにあたってわかりやすくなった等の意見が聞かれた。</p>																											
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等																	
	モニタリング					都市再生整備計画に記載した、実施できた																						
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した																						
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																						
住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載した、実施できた																							
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した																							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																							
持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載した、実施できた																							
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した																							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																							

## 様式2-2 地区の概要

### 中間東部・西北部地区(福岡県中間市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 歴史遺産・近代化史跡を活用したまちづくり 目標1: 歴史遺産・近代化史跡の周辺環境整備による魅力あふれる地域づくり 目標2: 歴史遺産・近代化史跡の周辺環境整備による人と人との交流を促進する地域づくり	文化財の保護	単位: %	6.1	H23	20.0	H30	23.0	H30
	フットパス利用者	単位: 人/年	50	H25	750.0	H30	370	H30
	地域歴史講座	単位: 人/年	360	H25	600.0	H30	616	H30
	観光ガイド育成講座	単位: 人/年	9	H25	30.0	H30	-	-
	史跡解説案内板等設置に関する満足度	単位: %	-	H	-	H	50.3	H30
	垣生公園整備に関する満足度	単位: %	-	H	-	H	60.2	H30
	歴史民俗資料館の年間利用者数	単位: 人/年	5,567	H25	-	H	17,716	H30
	中間観光ガイド登録者数	単位: 人/年	27	H26	-	H	40	H30



**まちの課題の変化**

- ・道路サインや歩道案内板、史跡解説板を設置したことにより、市内はもとより市外への方が集い、語り合いながら安心して訪れることができる環境が整備され、魅力あふれる地域づくりが推進された。
- ・レンタサイクルやフットパス導入、点在する歴史遺産を周遊できる利用促進イベントや市内コースマップ製作によるPRIにより、地域住民と市外から訪れた方が、共に活動できる場を提供することができ、人と人との交流を促進する地域づくりが推進された。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・本事業により歴史遺産・近代化史跡を周遊するための環境整備は整ったが、今後は歴史遺産・近代化史跡の周遊を促進する案内板と連動したマップ図の整備や国外の観光客を見据えた案内板の多言語表記等のサービス強化などにより、観光客の利用増進を図るとともに、機関紙だけでなく、ホームページやSNS等の情報発信を拡大していく等、ソフト事業の充実を図り、観光事業を広くPRし、更なる人と人との交流を促進していく。
- ・歴史遺産・近代化史跡の周辺環境整備について、市民や観光客へ周知を徹底し、整備効果の継続が図れるよう、維持管理を強化し、今後のまちづくりに活かしていく。